

## 島根県に被害をもたらした地震

過去に島根県で被害をもたらした地震は一覧表の通りです。陸域の浅いところで発生する地震平成12年(2000年)鳥取県西部地震など)や、南海トラフ沿いの地震(1984年の南海地震など)でも被害が発生しています。日本海東縁部で発生した地震(昭和58年(1983年)日本海中部地震など)では津波による大きな被害が出ています。

発生年月日	北緯	東経	規模(M)	震央地名(地震名)	被害状況
880.11.23 元慶4.10.14	35.4°	133.2°	7 程度	出雲	神社、仏閣、家屋転倒す。
1026.6.16 万寿3.5.23	不明	不明	不明	石見	現益田市高津川河口沖にあった鴨島が大波(あるいは大海嘯)によって崩され、海中に没したという。波は川沿いに16km上流に達したという。被害は50km以上東の黒松(現江津市黒松町)にまで及んだ。
1676.7.12 延宝4.6.2	34.5°	131.8°	6.5 程度	石見	津和野城石垣など崩れ、侍屋敷の石垣・塀破損。本丸櫓2カ所・出丸櫓2カ所崩れ、天守は別条なし。石垣崩れ17カ所、同孕72カ所。町方家蔵大分損、家屋倒潰133、うち16は土蔵、死7、傷35、田畑50町ほど潰込みあるいは水除崩る。
1748.6.18 寛延1.5.23	不明	不明	不明	松江(雲州地震)	松江鶴部屋橋石壁崩れ橋落つという。「出雲私史抜萃」による。
1778.2.14 安永7.1.18	34.6°	132.0°	6.5 程度	石見	那賀郡波佐村(現浜田市)で石垣崩る。都茂村(現益田市)で落石、三隅川沿いで山崩れ・家潰れなどありしとのこと。
1823.1.14 文政5.12.3	不明	不明	不明	石見	美濃郡・那賀郡が激しく、美濃村(現益田市)で潰家10戸。
1835.3.12 天保6.2.14	35.1°	132.6°	5 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> 程度	石見	島根県高畑村(現美郷町)で石地藏・石塔・墓石など倒れ、蔵の壁破る。
1854.12.24 嘉永7(安政1) ).11.5	33.0°	135.0°	8.4	和歌山県南方沖(安政南海地震)	出雲杵築大社(現出雲市)で潰150棟。
1859.1.5 安政5.12.2	34.8°	131.9°	6.2± 0.2	石見	島根県一帯、とくに那賀郡・美濃郡が強く、波佐村(現浜田市)で山崩れがあり、周布村(現浜田市)では潰家数戸。下道川村(現益田市)で家・土蔵小損4。美濃村(現益田市)で潰家10。高城村(現益田市)で石垣、吉賀川の堤防崩る。被害総計、家潰56、蔵損14、寺社倒2、山崩れ10、田畑損31町余、ほか道・橋・堤損多し。

1859. 10. 4 安政 6. 9. 9	34. 5°	132. 0°	6. 0～ 6. 5	石見	島根県那賀郡で強く、周布村（現浜田市）でも数戸倒潰し、地割れあり、匹見町では田地・往還・橋などの損がところどころにあり、居宅大損 4 があった。
1872. 3. 14 明治 5. 2. 6	35. 15°	132. 1°	7. 1±0. 2	島根県西部沿岸 （浜田地震）	約 1 週間くらい前から鳴動、当日午前 11 時頃微震。ついで本震の約 1 時間前にかんりの地震。また 8～10 分前に微震あり。 島根県では、死者 551、負傷者 582、全潰 4, 506、半壊 6, 072、焼失 230、山崩れ 6, 567。道・橋・堤防にも被害があった。 海岸で海水の変動あり。
1904. 6. 6 明治 37 年	35. 3°	133. 2°	5. 8	島根県東部	同日の 3 時 40 分に経度、緯度を同じくする M=5. 4 の地震があった。前の地震で能義郡大塚村（現安来市）で家屋の壁破損 1、同郡母里村（現安来市）で堤防の亀裂 2。本震で能義郡宇賀荘村（現安来市）で堤防の亀裂、大塚村・母里村で瓦の墜落などの被害があった。
1914. 5. 23 大正 3 年	35. 35°	133. 2°	5. 8	島根県東部	島根県能義郡・八束郡・大原郡で壁の亀裂、土地の崩壊・亀裂などがあり、玉造温泉は湧出量が 3 倍となり昇温した。【気象集誌】
1941. 4. 6 昭和 16 年	34° 31. 6′	131° 38. 0′	6. 2	山口県北部	山口・島根県境付近に小被害。須佐・江崎（山口県）およびその付近で土塀崩壊・墓石転倒・崖崩れ・道路の亀裂などがあり、益田・石見津田駅間で線路約 10cm 沈下し貨車が転覆した。
1943. 9. 10 昭和 18 年	35° 28. 3′	134° 11. 0′	7. 2	鳥取県東部 （鳥取地震）	壁に亀裂が生じ、屋根瓦数枚落ちた。煙突折れ、南方へ面した石碑南方へ倒れた（20 基）。 【鳥取地震概報 中央气象台】
1946. 12. 21 昭和 21 年	32° 56. 1′	135° 50. 9′	8. 0	和歌山県南方沖 （南海地震）	島根県では、死者 9、負傷者 16、住家全壊 71、住家半壊 161、道路・橋梁・堤防にも損壊があった。
1950. 8. 22 昭和 25 年	35° 10. 1′	132° 38. 6′	5. 2	島根県西部	震央付近で崖崩れ・壁の亀裂・墓石の転倒・井水の白濁などの微小被害があった。
1964. 6. 16 昭和 39 年	38° 22. 2′	139° 12. 7′	7. 5	新潟県下越沖 （新潟地震）	津波が本震の約 15 分後から日本海沿岸各地を襲い、島根県隠岐島でも水田が冠水した。 島根県では住家床下浸水 1、住家一部破損 38、水田冠水 10 ha の被害があった。

1977. 5. 2 昭和 52 年	35° 09.0'	132° 42.0'	5. 6	島根県東部	震央付近で壁の亀裂、剥落、崖崩れ、地割れなど軽微な被害が見られた。掛合町小原地区（現雲南市）では墓石がすべて倒れた。 住家一部破損 108 棟、非住家被害 55 棟、公共建物被害 129 棟、道路損壊 59 箇所、その他農地などにも被害。（昭和 52 年島根県災害年報より）
1978. 6. 4 昭和 53 年	35° 05.0'	132° 42.0'	6. 1	島根県東部	三瓶山の南東の大田市志学、頓原町（現飯南町）、邑智町（現美郷町）に被害。壁の亀裂・剥落、墓石の転倒、石垣や道路の小被害、崖崩れがあった。 住家半壊 5 棟、住家一部破損 55 棟、非住家被害 27 棟、公共建物被害 7 棟、文教施設破損 2 箇所、道路損壊 43 箇所、水道損壊 9 箇所、崖くずれ 3 箇所等。（昭和 53 年島根県災害年報より）
1983. 5. 26 昭和 58 年	40° 21.6'	139° 04.4'	7. 7	秋田県沖 (昭和 58 年(1983 年) 日本海中部地震)	この地震による津波で隠岐地方と島根半島を中心に多数の船舶・港湾施設に被害があり、浸水家屋などもあった。負傷者 5 人、住家床上浸水 141 棟、住家床下浸水 277 棟、非住家浸水 86 棟、公共建物浸水 17 棟、漁船被害 319 隻等。（昭和 58 年島根県災害年報より）
1991. 8. 28 平成 3 年	35° 19.4'	133° 11.2'	5. 9	島根県東部	被害の主なものは、天井・壁・床に亀裂、石垣にヒビ、ガラス割れ、酒瓶等落下、屋根瓦のずれ・落下、道路に亀裂・落石、JR 山陰・山陽両線等で運休、大幅な遅れ等があった。 住家一部破損 22 棟、非住家被害 1 棟、公共建物被害 6 棟等。（平成 3 年島根県災害年報より）
1993. 7. 12 平成 5 年	42° 46.9'	139° 10.8'	7. 8	北海道南西沖 (平成 5 年(1993 年)北 海道南西沖地震)	津波により隠岐地方、島根半島の沿岸、港湾、漁船などを中心に被害が発生した。住家床上浸水 5 棟、住家床下浸水 78 棟、漁船被害 93 隻、漁具被害 19 件等。（平成 5 年島根県災害年報より）
1997. 6. 25 平成 9 年	34° 26.4'	131° 39.9'	6. 6	山口県中部	住家一部損壊 3 棟、非住家一部損壊 4 棟、公共建物被害 7 棟等。（平成 9 年島根県災害年報より）

2000. 10. 6 平成 12 年	35° 16. 4'	133° 20. 9'	7. 3	鳥取県西部 (平成 12 年(2000 年) 鳥取県西部地震)	伯太町(現安来市)・八束町(現松江市)・安来市等で大きな被害が発生し、農作物にも安来市・東出雲町(現松江市)・伯太町で大きな被害が出た。 重傷 2 名、軽傷 9 名、住家全壊 34 棟、住家半壊 576 棟、住家一部損壊 3, 456 棟、道路被害 43 箇所、橋梁被害 2 箇所等。(平成 12 年鳥根県災害年報より)
2001. 3. 24 平成 13 年	34° 07. 9'	132° 41. 6'	6. 7	安芸灘 (平成 13 年(2001 年) 芸予地震)	軽傷者 3 名の他、住宅、道路、農業施設等に大きな被害が発生した。 住家一部損壊 10 棟、公共建物被害 1 棟、道路被害 2 箇所等。(平成 13 年鳥根県災害年報より)
2018. 4. 09 平成 30 年	35° 11. 0'	132° 35. 2'	6. 1	鳥根県西部	重傷 2 名、軽傷 7 名、住家全壊 16 棟、住家半壊 58 棟、住家一部損壊 556 棟等。(鳥根県『4 月 9 日鳥根県西部を震源とする地震に係る被害状況等について(最終報)』より)

参考：

地震調査研究推進本部：日本の地震活動

宇佐美龍夫・石井 寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子：日本被害地震総覧 599-2012

